

eラーニング講座

時間と場所に縛られないマイペース受講

本年度の卒後教育講座10講義と京都漢方研究会の12講義をオンデマンド配信します。2024年度卒後教育講座と漢方講座も再配信します。
配信期間中、何時でも何度でも視聴できます。ご自身のニーズに合ったコースにお申込みください。

配信期間

2025年6月1日(日)~2026年2月28日(土)

参加費

- ①全視聴コース 30,500円 (受講料30,000円、事務手数料500円)
- ②当年度コース 22,500円 (受講料22,000円、事務手数料500円)
- ③卒後コース 20,500円 (受講料20,000円、事務手数料500円)
- ④漢方コース 24,500円 (受講料24,000円、事務手数料500円)

認定単位

G24 1単位/コンテンツ

過去にeラーニング講座または卒後教育講座・漢方講座を受講し単位取得済のコンテンツは、認定単位の配付はありません。(視聴のみ可)



申込受付

2025年4月1日(火)
~2026年2月24日(火)

生涯教育センター
webサイト
申込ページ

新規 2025配信コンテンツ ※収録後、順次追加していきます。			
1	生成AI活用術～医師による薬剤師のためのChatGPT入門を中心に～	12	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—くしゃみ、鼻水—
2	授乳婦への投薬:どの情報を使い、どこまで伝えますか	13	【臨床】消化器疾患領域の漢方治療(2)(仮)
3	RMPを基礎から学ぶ(仮)	14	【基礎】血・津液の生理と病態
4	オーバードーズ ～一緒に考える、薬剤師の使命～	15	【薬物等】生薬の選品と鑑別(6)
5	在宅医療の本質と正しい薬剤師の関わり方	16	【臨床】情報収集から治療へ、経絡の知識からも処方を考える(2)(仮)
6	地域で取り組む医療安全～患者安全のために取り組むべき課題～	17	【基礎】四診(望・聞・切診)
7	患者さんに伝えたい”腎臓を守ることは、命を守ること”	18	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—更年期のトラブル—
8	ポリファーマシーを解消する病診連携	19	【臨床】生薬の薬能を病態に対応させて方剤を組む～漢方方剤誕生物語～(仮)
9	災害時医療と感染対策～地域を守る薬剤師に求められること～	20	【基礎】四診(問診)
10	漢方薬の服薬指導とアフターフォローのポイント～在宅と家庭薬膳教室の実践から～	21	【薬物等】和漢薬研究の醍醐味(仮)
11	【基礎】気の生理と病態	22	【臨床】産婦人科領域の漢方治療(仮)

2024配信コンテンツ			
23	感染症治療の基本的な考え方	34	【薬物等】漢方製剤の品質評価(仮題)
24	女性の健康と薬剤師のかかわり	35	【臨床】ペインクリニック領域の漢方治療
25	がん治療の変遷から胃がん外科医が経験してきたこと～	36	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—動悸—
26	がん薬物療法を受ける患者の自分らしく過ごすをどう支えるか～薬剤師と看護師の協働～	37	【薬物等】知っておきたい漢方配合生薬(その4)
27	がん薬物療法における薬剤師の役割—過去、現在、そしてこれから～	38	【臨床】消化器領域の漢方治療
28	ミトコンドリア/ATPシグナルと2型糖尿病	39	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—疲労倦怠感—
29	ミトコンドリアと糖尿病治療戦略	40	【薬物等】生薬の選品と鑑別(5)
30	CKD診療とくすり	41	【臨床】不妊治療-妊婦前から行う漢方治療について
31	薬剤師が取り組む！薬剤性腎症を予防する取り組み	42	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—肥満—
32	小児医療と薬剤師のかかわり	43	【薬物等】薬局薬剤師ができる研究活動
33	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方—月経不順・月経痛—	44	【臨床】皮膚科診療における漢方治療—痒癬を中心に～

※プログラム内容(コンテンツ)等は変更される場合があります。

